

第3回ゼータ若手研究集会

名古屋大学大学院 多元数理科学研究科の学生プロジェクト「代数体と関数体の整数論」の活動の一環として、下記のように研究集会を催しますので、ご案内申し上げます。なお、この集会は、科学研究費補助金基盤研究 (B) (課題番号 2034003) (研究代表者 松本耕二氏) から一部助成を受けております。

日時：2010年2月19日 (金) ~ 21日 (日) (3日間)
場所：名古屋大学東山キャンパス 理1号館 3階309号室
(多元数理科学研究科)

また、会場までの交通手段やこれまでの活動などは

<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/m07011y/zeta03.html>

で見ることができます。

プログラム

2月19日 (金)

13:00 - 13:30 塩見 大輔 (名古屋大学)

A congruence relation modulo p for zeros of a zeta polynomial for a cyclotomic function field

13:30 - 14:00 伊東 杏希子 (名古屋大学)

Remarks on the result of Mollin on the divisibility of class numbers of imaginary quadratic fields

14:15 - 15:15 田谷 久雄 (宮城教育大学) 木村 巖 (富山大学)

2次体を中心とした代数体の類数の非可除性について

15:45 - 16:30 水澤 靖 (名古屋工業大学)

基本 Z_p 拡大上の馴分岐 pro- p ガロア群について
(尾崎 学 氏 (近畿大学) との共同研究)

16:45 - 17:15 青木 光博 (名古屋大学)

Ω type result and sign change for an error term of mean value of cusp L -function

17:15 - 17:45 高井 勇輝 (名古屋大学)

An effective isomorphy criterion for mod ℓ Galois representations

2月20日(土)

9:00 - 9:45 佐々木 義卓 (近畿大学)
一般 Bernoulli 数の poly 化と付随する L 関数について

10:00 - 10:45 鎌野 健 (東邦大学)
超幾何ベルヌーイ数の sums of products について

11:00 - 11:30 小島 彰太 (立教大学)
多項式の無限回の合成で表される整関数について

11:30 - 12:00 岡本 卓也 (名古屋大学)
Apostol-Vu 二重ゼータ値の非正整数点での座標方向極限值に関する関係式

14:00 - 14:45 田中 立志 (九州大学)
多重ゼータスター値の特殊値について

15:00 - 15:45 川島 学 (名古屋大学)
微分作用素を代入した多重ポリログと多重ゼータ値の関係式

16:00 - 16:45 若林 徳子 (九州大学)
等号付き多重ゼータ値の巡回和公式の代数的証明について

18:00 -
懇親会

2月21日(日)

9:00 - 9:45 鈴木 正俊 (東京大学)
ゼータ関数の零点を渡る和に関する観察

10:00 - 10:45 赤塚 広隆 (東京工業大学)
リーマンゼータ関数の導関数の零点分布について

11:00 - 11:45 目良 貢 (九州大学)
Zero-free regions of a q -analogue of the complete Riemann zeta function

13:15 - 14:15 神谷 諭一 (大東文化大学)
グレイ符号に付随する sum of digits と数論的関数との関係について
(村田 玲音 氏 (明治学院大) との共同研究)

14:30 – 15:00 鈴木 一克 (名古屋大学)

自己双対符号に対する m スポッティ重み母関数のマクウィリアムス恒等式と
Epstein ゼータ関数の関数等式について

15:00 – 15:30 田中 秀和 (東京工業大学)

MULTIPLE GAMMA FUNCTIONS, MULTIPLE SINE FUNCTIONS, AND
APPELL ' S O-FUNCTIONS

15:45 – 16:30 井原 健太郎 (Pohang Mathematics Institute)

Periods of modular forms and iterated integrals